

クラボウグループ サステナビリティへの取り組み

世界では“環境や社会の課題解決”に取り組むため、サステナビリティやSDGsへの関心が高まっています。

そこで今回は、クラボウ各事業部でのサステナブル技術や製品の一部を紹介するとともに、担当者からサステナブル活動への思いを熱く語ってもらいます！

クラボウグループでは、下記のようにサステナビリティに関する基本方針を定め、事業活動を行っています。

【サステナビリティに関する基本方針】

持続的な社会の実現に貢献するためには、企業自らが持続的な企業価値の向上を目指さなければならないと考えており、付加価値の高い技術や商品・サービスを創出し、高収益事業を育成・拡大するとともに、当社グループの経営理念である

「私たちクラボウグループは、新しい価値の創造を通じてより良い未来社会づくりに貢献します。」のもと、以下の実践に努める。

- ① 事業を通じた社会課題解決への貢献
- ② 地球環境の保全を意識した事業活動の推進
- ③ 人権の尊重および、働きやすさとやりがいのある職場環境の整備
- ④ 信頼される企業づくりの推進



SDGsとは、“Sustainable Development Goals”の頭文字で、「持続可能な開発目標」と日本語で訳され、2015年に国際連合で決まった「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されています。

SDGsは世界の共通言語で、10年後も100年後も地球上で人類が発展できるかを考え、「誰ひとり取り残さない」ために、17の目標で2030年までにあらゆる課題の解決を目指す。ということです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



企業が事業を通じて、SDGsに貢献することはもちろん、社会の一員である、われわれ一人一人もサステナビリティを意識して、“小さなできること”から行動していきましょう！



繊維事業部が取り組むサステナブル技術・製品

♾️ L∞PLUS (ループラス)



「担当者が語るサステナブル活動への思い」

裁断片の再生技術 L∞PLUS

カジュアル課 なかの みつお
中野 光雄さん



(株)高島屋の「Depart de Loop」や(株)ITONAMIの再生デニムプロジェクト「FUKKOKU」では、一般消費者から回収したデニム製品を原料とした取り組みが少しずつですが発展してきています。将来的に、サステナブルファッションが、ごく自然に日常に根付き、広く社会に受け入れられるようクラブウから世界に発信していきます。

繊維素材課 にらさわ ゆうた
荻澤 佑多さん



今治産地に協力いただきタオルの端材を回収、アップサイクルした糸を9月から販売開始します。この取り組みを始めとして、アパレルや消費者の方々に「アップサイクルとは何か、L∞PLUSとは何か」を広く認知いただき、アップサイクルがより身近なものとして浸透していくようになればと考えております。L∞PLUSを手にとった消費者の方々が、よろこ喜びと驚きを持って商品を使用していただけよう、今後も開発・提案を続けていきます。

機能衣料課 なかやま かほ
中山 耶歩さん



商売の中で生まれた「捨てられてしまうもの」がL∞PLUSのアップサイクル・システムによって再製品化され、環境配慮に貢献していくことは、企業に求められるサステナビリティにつながるのだと思います。課題もありますが、L∞PLUSとして使用できる原料の幅を広げていき、課や事業部を超えて一つの組織として成り立つレベルのビジネスに拡大することを期待しています。

L∞PLUS
特設サイト



8/8に
リニューアル

廃棄製品・裁断片を再製品化する
アップサイクル・システム



Re-Style Festival 2022



6月11日にイオンモール幕張新都心(千葉県)で開催された、環境啓発イベント「Re-Style Festival 2022」で「L∞PLUS」を紹介しました。「Re-Style」は、環境省が提唱する循環型社会ライフスタイルのことです。「工場見学みたい!」「こうして糸や服が作られるんだね」「これまで捨てていたものを生かす取り組みが進んでいるのですね」と、ものづくりやL∞PLUSの取り組みについて皆さんに楽しく知っていただけたと感じました。

安城工場 エコ育活動

5月24日、「安城市共創パートナー」である安城工場は、愛知県立安城高等学校でSDGsをテーマとした授業を行いました。高校生たちがクラブウの「L∞PLUS」を知り、また、循環型社会を実現するために何をすべきか等を考える良い機会となりました。



化成品事業部が取り組むサステナブル技術・製品

クララフォーム-R (HFOシリーズ)

「担当者が語るサステナブル活動への思い」

現場発泡ウレタン クララフォーム-R

断熱商品課 福本 昂平さん



クララフォーム-Rはビル、マンション、戸建住宅、倉庫の断熱材として使用されている現場発泡タイプの吹付ウレタン原液です。

今回ご紹介するのはその中のHFOシリーズです。HFOとはウレタンに閉じ込めることで断熱性能を向上させる発泡剤です。ノンフロンであるため、温暖化係数が低く、さらにオゾン層も破壊しないため、“気候変動に具体的な対策を”に貢献できる製品です。

また、クララフォーム-Rを用いることで高い断熱性を実現し、“住み続けられる街づくり”の実現を目指しています。具体的にウレタン断熱材は断熱性能が良い上、経年劣化が少なく、長く住み続けられる住宅づくりが可能です。また、高断熱化により冷暖房の使用量を減らすことで、

CO₂削減にもつながり、カーボンニュートラルな街づくりに貢献できます。

私が営業活動をする中でお客さまもサステナビリティを意識され始めていることを実感しています。例えばランニングコストを抑え、長く住み続けられる住宅を作るために、ウレタンの厚みはどうすれば良いのかなどのお問い合わせをいただく機会が増えました。その際はお客さまの希望する断熱性能を満たすウレタンの厚みをご提案するとともに、省エネ基準や支援制度などを説明することでお客さまにサステナビリティをより身近に感じてもらえるように心掛けています。

現在はまだフロンタイプの製品を使用している業界もあります。

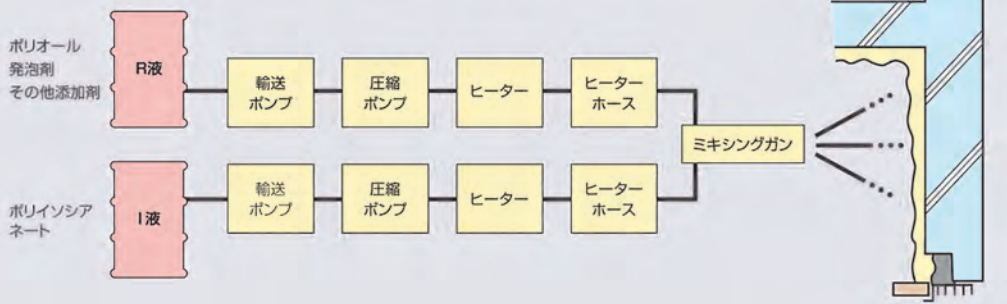
今後は環境に優しいHFOシリーズへの切り替えを進め、社会課題の解決に貢献します。

クララフォーム-Rは寝屋川工場で開発から出荷までを一貫して管理しています。イソシアネートとポリオールという2液を混ぜ、現場で泡状に発泡することができ、継ぎ目ができず、気密性に優れた断熱層を形成することができます。実際の施工は専門の吹付施工店が実施しています。ウレタンの特徴として自己接着性が挙げられます。この特長を生かし、連続的な施工が可能であるため、手作業の断熱材に比べて工期を短縮することが可能です。



ミキシングガンでの吹付の様子

吹付手順



環境メカトロニクス事業部が取り組むサステナブル技術・製品

[フント]

FUNTO 家畜排せつ物処理装置



「担当者が語るサステナブル活動への思い」

環境エネルギー課

わたなべ よしひろ
渡辺 祥弘さん



サステナビリティへの期待

畜産業界では、日々、家畜が排せつする糞・尿などの処理に長年、悩まされてきました。排せつ物は悪臭を放ち、地域社会への影響も大きく、適正に処理し続けなければ、深刻な環境破壊にもつながる重要な課題です。この長年の課題を解決する装置として開発したFUNTOは、家畜排せつ物処理を助け、畜産環境の保全、飼育環境の向上を支援し、かつRPF燃料（プラスチック廃棄物を原料とする燃料）を使用することで資源循環型社会にも貢献できると考えています。

FUNTOの展望

FUNTOで用いる燃料は、現在、固形燃料(RPF等)、汎用燃料(灯油、軽油)から選択可能です。将来的にはRPF以外の廃棄物や環境にやさしい次世代燃料を活用し、より資源循環型社会に貢献できる商品にシステムアップしたいと考えています。また、エンジニアリング部が培ってきた技術、知見を活用して、FUNTOだけではなく、排水処理など畜産業界の環境課題をトータルで解決していきたいと考えています。

サステナビリティを意識することでの変化

当部では排ガス、排水処理装置やサーマルリサイクル装置など、以前より環境に貢献する商品を作ってきましたが、昨今ではサステナビリティへの風潮が高まることで、自身の仕事が社会に貢献できていることを、より一層実感できるようになりました。今後もクラブウの一員として、サステナブル商品の普及に努めていきます。



FUNTOは、家畜排せつ物（使用済み敷料、堆肥、等）を急速乾燥・瞬間殺菌する装置です。特殊構造の再生装置の中で、家畜排せつ物は熱風により乾燥・殺菌され、短時間で戻し堆肥（低水分堆肥）に生まれ変わります。畜産業界は長年、排せつ物の処理や木粉等の敷料（畜舎の床材）確保に課題を抱えており、FUNTOはそのソリューションとして、2021年に開発された商品です。

FUNTO
特設サイト

